

ボーリング柱状図

調査名 主要地方道吉田豊栄線道路施設等維持修繕工事に係る測量設計業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 7 5 6 6 0 0 1

事業・工事名

シートNo. 1

ボーリング名	BoNo. R1-1		調査位置	広島県安芸高田市向原町戸島 地内		北緯	34° 38' 14.3380"			
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和元年 8月 6日～ 令和元年 8月 9日		東経	132° 42' 24.2450"		
調査業者名				主任技師			現代代理人			
孔口標高	T P 293.30m		角			方				
総掘進長	9.00m		度			地盤勾配	5° 鉛直 90° 水平 0°			
使用機種	試錐機		東邦地下工機 DO-C型		ハンマー	半自動型		ポンプ	東邦地下工機 BG-3C型	
エンジン	ヤンマー NFD-12K型									

標尺	層高	厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室掘							
											深	10cm毎の	打撃	N										
m	m	m	m	図	区分	調	密	稠	事	m	度	0	10	20	30	40	50	60	m	度	番号	方法	日	
1	292.30	1.00	1.00		砂質土	暗褐	非常に緩い	非常に緩い	表土及び崩積土 ・最上位は草根混じえる暗褐の腐葉土 ・砂は細～中粒砂から成りφ5mm程度以下の細～中粒ないし鉱物片を含み粒度不均一 ・細粒分を不規則に挟み、場所的に優勢	8/300	1.00	45	1	45	1									
2	291.40	0.90	1.90		シルト質砂	黒褐	非常に緩い	非常に緩い	同表土 ・粗腐植混じえる黒褐腐植層 ・砂分は微細砂～細砂		2.15	13	12	9	34	30								
3					砂礫	淡灰	中～やや硬い	中～やや硬い	土流堆積物 ・礫はφ20～50mm程度の中～粗礫 ・基質部は粒度不均一な粗粒砂から成り、若干の細粒分を伴う ・基質支持を呈す棉流堆積物		3.15	6	7	9	22	30								
4	288.80	2.60	4.50		玉石混り砂礫	淡青	中～やや硬い	中～やや硬い	・上部～GL～2.55m付近まで、火山灰質の微細砂分を挟み灰色を呈す完新世土流堆積物 ・確認石長L=20cm程度以下の玉石が混入		4.15	5	7	9	21	30								
5	287.60	1.20	5.70		花崗岩	灰褐			・礫はφ20～75mm程度の円磨度低い粗礫であり、延長質岩石が主体を成す ・基質部は粒度不均一な粗粒砂から成り、細粒分を伴う		5.15	4	5	5	14	30								
6	286.90	0.70	6.40		花崗岩	淡青			細～中粒花崗岩 (GM) ・採取試料は短柱状主体		6.05	50	50	50	50	50								
7	286.20	0.70	7.10		花崗岩	淡灰			破碎帯部 (DH～GL) ・軟質棒状～角礫状を呈す破碎帯部		7.05	50	50	50	50	50								
8	285.10	1.10	8.20		花崗岩	淡灰			細～中粒花崗岩 (GM) ・岩自体堅硬なるも節理やや発達 ・採取試料は短柱状～岩片状を呈す ・節理面は褐灰に変色し一部で淡灰の膠着物が存在		8.05	50	50	50	50	50								
9	284.30	0.80	9.00		花崗岩	淡灰			細～中粒花崗岩 (GM) ・岩自体、新鮮かつ堅硬 ・採取試料は、長柱状主体でコア肌は鏡面 ・ハンマーの軽打で金属音を発する		9.00	貫入不	断	50	50	50								